

espresso

FUKUOKA

ESPRESSO
【エスプレッソ】
vol.7

プロから学ぶ大人の作法

スペシャル対談 「作法論」 原田隆晴(株)博多大丸社長×永江静加 IAA学院長

【The Chronicle】～追憶の風景～

今も灯るネオンサインに秘められたメモワール
カフェ&バー エタニティー

【espresso recommends】

至福の時間を彩る理想のパートナー

【My collection】

「僕のモノがみんなのモノになった」
株Zサイエンス社長 竹田伸一

「大人の作法」責任

円滑な相続は「思いやり」から



飯塚市出身、1966(昭和41)年生まれの44歳。熊本大学法学部法律学科卒。大手保険会社勤務、保険仲立人などを経て2005年に㈱三好不動産へ入社。社内の福岡相続サポートセンターで相続コーディネイト業務に従事、2010年5月同センターを法人化し、代表取締役就任

相続コーディネーター

江頭 寛

「相続対策というと『相続税』、『節税』を連想されるでしょう。でも一番重要なのは『遺産分割』です。私の経験上、程度に差はあっても『分割』で採めることの方が多いです」と語る江頭さん。

家族の将来を支える遺産そのものが原因で家族がバラバラになるという皮肉なリスクを回避するためには、遺す側はどのように配分したいか、遺書などきちんとした形で残し、相続する側は「現実には全く平等・均等な分配は有り得ない」ことを

まず認識すべきだという。

「遺書を作るのは相続時の混乱を防ぐためです。よく私は『親の責任として、子育てと同じくらい大事なことですよ』とお話します。またご自宅など不動産の分割相続は現実的に困難です。相続されるご家族は、お互いに思いやりを持つことが円滑な相続の第一歩です」。

(株)福岡相続サポートセンター

福岡市中央区今川1丁目1-1